

あつ

温ちゃん通信

第11号

2019.8.10
発行

発行・編集 やまね 温子後援会 〒739-1805 安芸高田市高宮町原田 1378

Tel/Fax : 0826-57-1875 携帯 : 090-1180-1136

mail address : akoyamane@gmail.com

face book: やまね温子後援会 ホームページ: yamane-atsuko.com

梅雨明け後の大雨と雷、さらには酷暑の夏。
皆さまいかがお過ごですか。

体調をいかに保つか、難しいこともあります

が、皆さまそれに健康法をお持ちと思いま
す。

今回は、トレッキング（山歩き）を月一回グ
ループでされている和田さんに寄稿いただきま
した。

懐かしいです。私も高校時代はワンダー
フォーゲル部にいたことがあります、なぜか

天気に恵まれない。四国の剣山とか登り始める
と大雨となり、びしょびしょになつて下山した
ことが思い出されます。私が雨女なんて、思わ
ないでくださいね。超強力な雨を呼ぶ人がいた
んだと思います、きっと。

さて、トレッキングのお話を読ませていただき
き、感激から興奮を呼んだミヤマヨメナを見た
くなりました。山ガールのお友達から写真をい
ただきました。牛曳山の6月上旬はヨメナロード
が待ってるんですって、素敵ですね。



私の健康法

年齢が70歳を超えると、足腰が弱つてくるもんですね。

私は、農業の傍ら、体力維持のため「美土里山の会」で、月一回
のトレッキングを楽しんでいます。安芸高田市の広域から、いつも
10名から15名位の人が参加されます。自分の都合と体力に応じて任
意に参加されます。

山の魅力は景色、花、食事ですが、今回は比婆山連峰を紹介します。
県民の森公園の北側は、牛曳山から毛無山の縦走です。

初夏にかけてやまゆり、ちごゆり、ミヤマヨメナの咲く季節が最
高です。特に山頂付近で、山の稜線に左右真っ白なミヤマヨメナの
花が迎えてくれると、感激が興奮となります。

ブナの新緑を見ながら進んで行き、毛無山で360度の展望の中
での食事はとっても美味しいものです。

南側の比婆山御陵は「古事記」伝説に浸りながら楽しむといいで
すね。古事記伝説の遺跡とともに、御陵の一帯はブナの巨木やイチ
イの木も圧巻です。なんといっても天気と季節がうまくかみ合わな
いといけませんね。

そんな私ですが、先日山に行つて体が重
く、一週間前から続く微熱の為と思つて、
診療所に行くと「肺炎」でした。

山が私の不調を教えてくれました。自分
は元気と過信してはいけませんね。転倒防
止と体の変調には私も皆さんもくれぐれも
気をつけましょう。そして健康で動けるよ
う自分に似合った体力維持に努めましょう。



人は最大の「財産」、まちづくりは人づくり！

職員定員適正化計画

一般行政事務職は、定年・再任用・勧奨退職者の2～3割を新規採用、専門職（保健師、保育士、消防吏員）は現体制を維持で2019～2028年までの10年間とし、この期間中の職員削減数は目標29人としました。これまでの2009～2018年の10年間の職員削減は92人。計画以上の削減です。定年を待たず早期退職される人が年によっては二桁にのぼる年もありました。この状況を知って、「職員数減」＝「リストラの成功」と考えるのは単純すぎる。やめる理由は様々だが、実務経験を積み、地域を知り尽くした職員の生産性をもっと高く評価すべき』との声もあります。

職場は人を育てる場でもあります。実践的な知識や技術、さらには人脈などがつながらないことを危惧します。第4次の計画では、本年度368人→2028年度348人を目標に設定されています。

再任用職員の経験も活かし市民に信頼される職員を目指してほしいものです。

● 人材育成基本方針と総合計画と行政改革大綱との連動性は？

	平成17年	平成19年	平成21年	平成26年	平成27年	平成31年 /令和元年
総合計画 (事業戦略)	将来像は 「人輝く 安芸高田」 H17～H26				将来像は 「人がつながる田園 都市 安芸高田」 H27～H36	
行政改革大綱 (組織戦略)	第1次 H17～H21		第2次 H22～H26	第3次 H27～H31		第4次 策定予定
人材育成基本方針 (人材戦略)		H19 R1年に至るも改正せず				

PDCAサイクルとは？
PLAN 計画→DO 実行→CHECK 評価
→ACTION 改善のサイクル



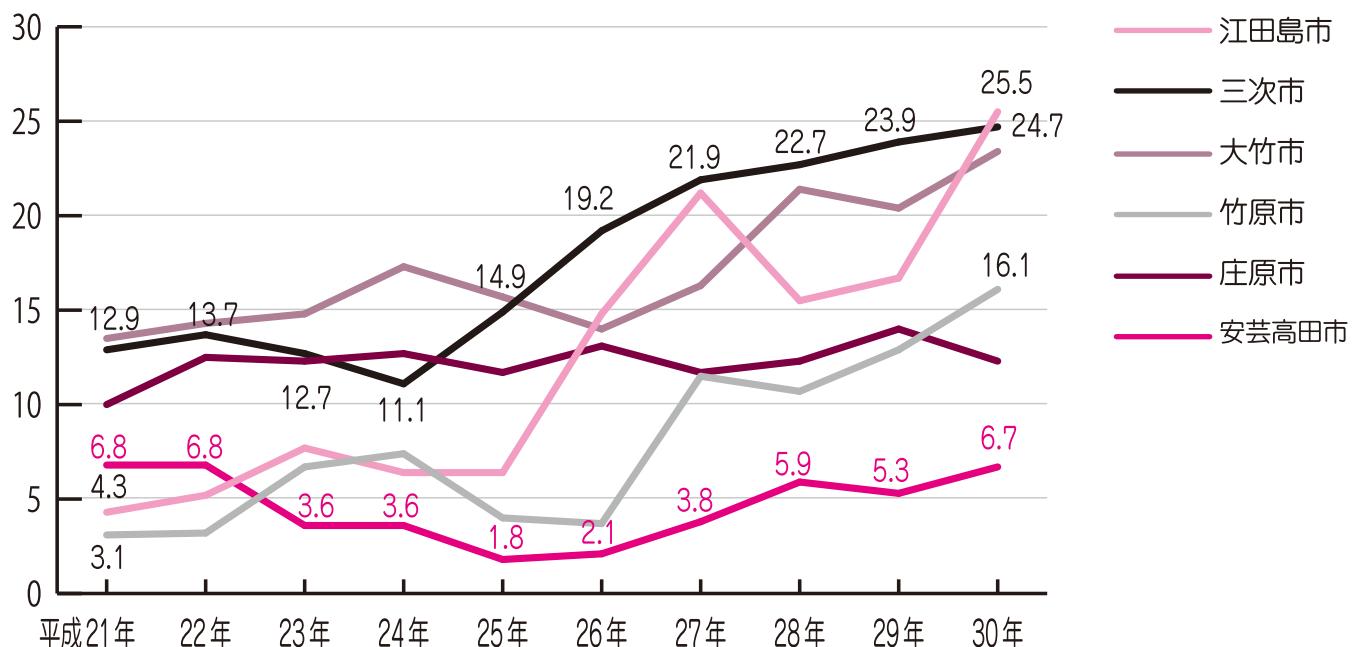
住民と行政のまちづくりの指針となる「総合計画」は事業戦略であり、社会情勢の変化に対応する行政組織とする「行政改革大綱」は組織戦略である。この戦略の実行は職員の能力と意欲によりその成果に大きな差ができる。「人材育成基本方針」は職員の能力を十分に發揮し、高い士気を持つて働く人材を育成していく人材戦略であり、その成否がまちづくりの将来を左右する。また、この3つの戦略はどれが欠けても意図する成果を得られない。と人材育成基本方針で位置づけながら、総合計画も第2次に改定され、行政改革大綱も第四次の改定がなされようとしている状況で、この人材育成基本方針は10年を越えて改められることのがなかつた理由を質問すると、この方針には期限がないからの答。人材育成基本方針に使われる将来像は、第一次の総合計画の将来像の「人輝く 安芸高田」です。だって、平成19年にできてから変えてないのだから。総合計画が第一次に改定され将来像が変わっても改めなかつたのは、忘れていたか、人材育成の大切さを軽んじていたのかと思つて

温ちゃんのもう一言

しまう。研修は行っているとの答弁もあつたけれど、計画を基に動く（これってPDCAって言います）のが行政、たくさんの方の計画を整合性と運動性をもって動かしていくのが行政と思っていた私なりの信頼にまた、がついた日でした。
「たいしたことじゃない、基本は同じじゃろうが。」と思ってですか？ いえ、いえ他市との違いには大きいものがあります。ちなみに、三次市では、平成29年第三次人材育成基本方針において、行政改革大綱の基本理念を軸に取り組みを進め、女性職員や若手職員の活躍促進をあげ、女性管理職・係長職の登用率向上を図ると書き込んでいます。次ページのグラフがその基本方針の効果を物語っているのだ感じます。ならば、安芸高田市の平成19年人材育成基本方針ではと見ると、女性の職域拡大として触れるのみ、なのに第四次職員定員適正化計画に女性職員の登用を入れています。次ページに、女性のキャリアアップを阻害する3つの要因を挙げていますが、これらのことへの認識と対応なくして職員数の適正化を考える場で、方針以上のことに触れるのは、女性を数合わせのコマとしてしか見ていないのではないかと疑います。

ダイバーシティ(多様性)への取組は、まず女性の活用から！

県内近隣市および人口類似市の管理職(課長相当職以上)に占める女性の割合の経年変化



(広島県の男女共同参画に関する年次報告より作成)

安芸高田市職員の管理職に占める女性割合は6・7%、10年たっても10%を超えないというのが残念です。女性は、管理職には向かないとか、子育てや家族の協力が得られない無理とか言われることがあります。しかし、平成21年安芸高田市より低かった江田島市4・3%や竹原市3・1%が、30年には25・5%、三次市も12・9%から24・7%にアップ。10%以下で伸び悩みの安芸高田市は、人材育成基本方針（人材戦略）という計画の改定もせず、女性の活用をどう進めるのでしょうか。

さて、東京・女性政治塾でのNPO法人J-Win理事長内永ゆか子さんの「経営戦略としてのダイバーシティ・マネジメント」の講演では、多様性への取り組みとして、女性のダイバーシティ（いろんな価値観・経験などの多様性）への取り組み→女性活用はその第一歩→決定過程に女性が入れば、発想が変わり、組織に革新を起こす

- ① 社内に目指すべきロールモデル（模範となる人物）がないため、自分の将来像が見えにくいこと
- ② ワークライフバランス（仕事と家庭／育児とのバランス）
- ③ 「オールド・ボーイズ・ネットワーク」の存在…男性中心社会で培われた男性独特の組織文化であり、共有、伝承してきた男社会の見えない絆のネットワークの存在

キャリアアップを阻害する3つの要因は、



早稲田で学んだ4日間

(7/23～26 政務活動費による研修)



東京女性政治塾にて、
野田聖子先生と

早稲田大学の先生方が研究されていることを教えていただきました。安芸高田市でも取り組めそうな可能性を秘めたものや今後問題となる可能性があるものなどを紹介します。

衆議院予算委員長の野田聖子さんを塾長とする東京女性政治塾に参加しました。これは、個人として応募し参加できたもので、政務活動費は使っていません。

塾長はじめ、企業の最前線で働く方々や塾長と関わりのある福祉領域で活動されている方々の講義、女性ばかりかと思いきや、最終日には、カルビー㈱やライザップグループ㈱の取締役として女性活躍の環境づくりを推進められてきた松本晃氏の講義、まさにそこまで言い切るのかー、といつとんが随所にちりばめられた、あつという間の3時間40分×3日間。

- 太陽光・風力・地熱・バイオなどの再生可能エネルギー（以下再エネ）では、太陽光発電（メガソーラー）における環境破壊が問題となり、開発抑制の条例化が動き出している。また、地域住民が再エネ設備に投資し利益を受ける地域経済循環も進む。安芸高田市は再エネ資源量があり、今後再エネを利用する」としてCO₂排出量を削減し、地域経済循環型をめざす。
- ICO-Tを活用した地域公共交通の活性化は庄原市や大田市が実証実験に参加している。オープンドータやビッグデータについても取り組みを進め、地域の課題解決に活用する。
- 獣害処理にバイオマス（微生物や昆虫）の利用で、狩猟者負担や焼却処分コストを抑える取り組みをする。



あとがき

令和元年号が改元され、最初は戸惑いもありましたが、いつの間にか違和感なく受け入れができるようになりました。先日、「はじめの一歩何歳でも」という新聞記事を見て驚きました。主人公は大正6年生まれの富久正一さんです。三次市在住のマスターズ陸上記録保持者。富久さんは、現在102歳の現役アスリート。97歳で年齢別で競うマスターズ陸上競技大会の出場を誘われた時、「新しいことに挑戦するのだから、私の人生これからですね」と前向きの言葉だったそうです。何事にも前向きな姿勢は大切なーと思った次第です。今後とも温子議員に対する皆様の「支援」「指導」をよろしくお願い致します。

